

The 2nd APNG Camp
“Asia network of the next generation”
について

早稲田大学メディアネットワークセンター

shi@goto.info.waseda.ac.jp

2002年9月20日

APNG Camp

- 2nd APNG Camp
 - “Asia network of the next generation” というタイトル
- 開催地と時間
 - 中国上海、2002年8月28日-29日の2日
- 参加者は51人
 - 日本は9人、国別だと、3番目に多い
 - 一番参加者多かったのは韓国の18人、次は主催地の中国の17人、4番はタイの7人

キャンプの初日（午前編）

- Opening Plenary Session: 自己紹介
- Keynote Speech:
 - “Internet leadership in AP”について、ICANNのディレクターの村井 純教授
 - “Asia cultural Network”について、台湾のChung-hwa Univ.のProf. Kuan-Hsing Chen
 - “Internet policy in AP”について、APNICのディレクターのMr. Paul Wilson

キャンプの初日（午後編）

- Plenary Session
 - タイトル: “Youth Homepage Presentation & discussion of the networking of the next generation in AP”
 - 行われたプレゼンテーション
 - Haja
 - UniNet
 - ASES
 - Cultural Studies of Shanghai Univ.

キャンプ初日 (夕方編)

- Breakup Session
 - Young feminist network in AP
 - Internet Policy in AP
 - Asia youth culture
- 当時セッションなので、Asia youth culture というセッションに参加した
 - アジア、アジアの文化、欧米からの文化についての影響、若者の文化などについて各自の観点で議論した
 - 参加者は19人、Working Groupを構成し、私が議長となり、副議長は韓国から来たKyo氏
 - camp-culture@apng.orgがWGのメーリングリスト

キャンプの翌日

- Panel Discussion
 - “Report from DOT Force and beyond” by Mr. Izumi Aizu
 - “Digital Divide in China Fact and Solution” by Le Ricky Lu
 - “Accepting the Challenge of the Digital Divide” by Norbert Klein
- Closing Plenary Session
 - 各セッションの議長は各セッションの目標、議題、結論などについてプレゼンテーションが行われた
 - Asia youth cultureのセッションについては私がプレゼンテーションをし、今後のWGの方向などにつて、コメントを頂いた

感想

- APNG Campは文字通り、アジア太平洋地域から来たたくさんの人々と知り合い、様々な議題について議論していく場を提供してくれた
- 日本での留学や、多言語ドメイン名についての研究参加などによって、アジア文化について興味をもちはじめたが、この度のキャンプの参加によって、出身である中国と留学先の日本の文化はもちろん、もっとたくさんな文化に触れあうきっかけができ、これからこそが楽しみだと思う